

## 2.3 社会基盤施設の状況

### 2.3.1 施設ごとの状況

施設ごとに、施設の特徴、管理数量、各施設の情報・データの管理状況、施設の位置と状況、管理経費の実績と将来予測を整理し、それらから施設の管理上の課題を抽出します。

管理経費の将来予測については、現状の管理水準を今後40年間維持することを条件とした経費を算出しています。なお、40年間の期間はマネジメント計画の運用開始予定である平成29年度（2017年度）から平成68年度（2056年度）として試算を行います。

管理経費の内訳である維持管理経費と補修更新経費については、次の考えに基づき算出します。

- 維持管理経費

維持管理経費は、近年のインフラ管理経費実績の中では最も低い支出額であった平成25年度（2013年度）の実績と同等の経費支出があるものとみなして試算します。

ただし、現時点で、法改正や制度変更があり、将来の経費に影響を与えると考えられるものや新たな施設については、これを含む維持管理経費を試算しています。

- 補修更新経費

現在の管理状態を継続的に維持することを前提に、施設ごとに補修や更新のサイクルを設定し、今後必要となる補修更新経費を試算します。

基本的には、事後保全型の維持管理がそのまま継続されることを前提としていますが、橋りょうなど、予防保全的な考え方の導入が進んでいる一部の施設については、その内容を踏まえて試算しています。

施設の管理上の問題点については、図2-14の4点から整理を行います。

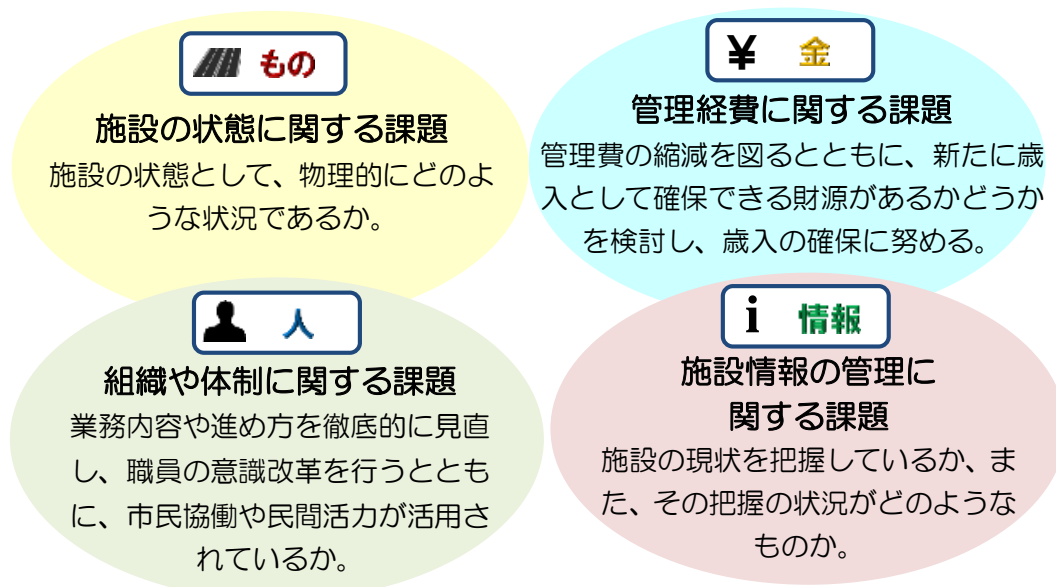


図 2-14 課題整理の4点